

平成 28 年度経済産業省 高機能 J I S 等整備事業
「安全・安心な社会形成に資する J I S 開発」
案内用図記号に関する J I S 開発」実施計画書

1. 事業の目的

2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催などでの外国人観光客の一層の増大に向けて、J I S Z 8210（案内用図記号）の国際整合性の確保と、新規図記号（東京都が作成・普及に取り組んでいる「ヘルプマーク」を含む）の追加及び既存図記号の見直しが求められている。

平成 28 年度は、I S O 7001（図記号—一般案内用図記号）及び I S O 7010（図記号—安全色及び安全標識—登録安全標識）への整合化を図り、必要な新規図記号の追加と既存図記号の見直しを反映させるとともに、追補 1～6 を統合した J I S Z 8210 の改正素案を作成する。

2. 事業の内容及び実施方法

上記の目的に基づき平成 28 年度は、次の項目について実施する。

2. 1 原案作成委員会の開催

(1) 本委員会

原案作成本委員会を、全 3 回程開催する。

(2) 分科会

本委員会の意見等を反映し、具体的な J I S 素案作成を行う原案作成分科会を、全 3 回程開催する。

2. 2 本事業の報告書作成

上記 2. 1 結果を本事業に係る報告書報告書として取りまとめる。

3. 事業の実施期間及びスケジュール

3. 1 実施期間

契約書締結日から平成 29 年 3 月 31 日まで

3. 2 事業のスケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2. 1 原案作成委員会												→
(1) 本委員会				○			○				○	
(2) 分科会					○			○		○		
2. 2 本事業の報告書作成												→

3. 3 事業実施場所

一般財団法人日本規格協会 東京都港区三田 3 丁目 13 番 12 号

4. 納入物

成果報告書 電子媒体（CD-ROM） 1枚

5. 納入場所

経済産業省 産業技術環境局 基準認証政策課

【本委員会と分科会の作業区分けについて】

- ・本委員会 : J I S 原案作成の方針を決定し、分科会の作成した規格素案を承認する。
- ・分科会 : 本委員会の方針に基づき、具体的な J I S 素案を作成する。ヘルプマークの取り入れ方法、及び個別の図記号が I S O へ整合しているかどうかについて、必要に応じ検討する。取りまとめた案を本委員会へ提出する。

注：交通エコロジー・モビリティ財団の委員会で作成される新しい図記号案については、まず本委員会で J I S に入れるかどうかの検討をし、その後分科会で実際にどう文書に入れるかを検討する、という流れになる予定です。